

# India Weekly

2019年3月11日



(対象期間：2019/3/4～2019/3/8)

## 【株式市場】SENSEX指数の推移 (2016年1月1日～2019年3月8日)



## 【株式市場】

2月後半以降パキスタンとの緊張が高まった際の政府の対応が評価され、4～5月に予定されている下院選挙でモディ首相のインド人民党（BJP）が勝利するとの期待感が高まったことから、インド株式市場は週初から堅調に推移しました（4日は休場）。8日は世界的な景気減速懸念でアジア株式市場が下落したことからインド株式市場も連れ安となりましたが、週間では上昇しました。

2019/3/1	2019/3/8	変化率
36,063.81	36,671.43	1.68%

## 【債券市場】インド国債10年国債利回りの推移 (2016年1月1日～2019年3月8日)

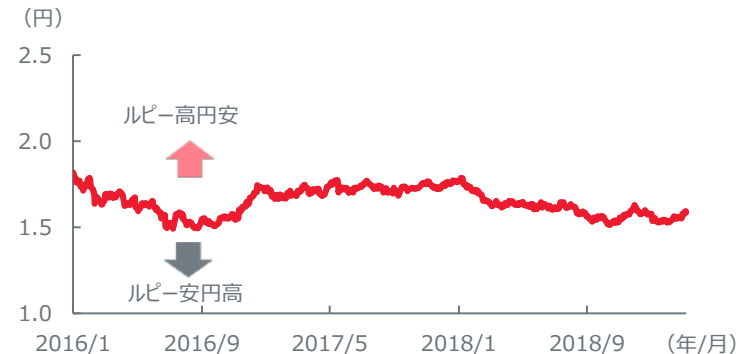


## 【債券市場】

4日はシヴァ神生誕日の祝日で休場でした。週半ばに先行きの需給懸念を背景にインド10年国債利回りは上昇（価格は下落）しました。しかし、8日はインド政府が2018/19年度の財政赤字目標の達成に強い自信を示したことが好感され、インド10年国債利回りは低下（価格は上昇）しました。週間でも国債利回りは低下となりました。

2019/3/1	2019/3/8	変化幅
7.377	7.365	-0.012

## 【為替市場】インドルピーの対円レートの推移 (2016年1月1日～2019年3月8日)



## 【為替市場】

インドとパキスタンの緊張が緩和する中でインド株式市場への外国人投資家の資金流入が増加したことからルピーは対米ドルで上昇しました。円も対米ドルで上昇しましたが、ルピーの上昇幅の方が大きかったことからルピーは対円でも上昇しました。

2019/3/1	2019/3/8	変化率
1.578	1.585	+0.44%

出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧誘・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、本資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

**イーストスプリング・インベストメンツ株式会社**

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャル・グループ

英国ブルーデンシャルは、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・フィナンシャル社とは関係がありません。